

「地域防災」の50号発行に 寄せて

総務大臣
松本 剛明



この度、「地域防災」の50号が発行されますことを、心からお祝い申し上げます。消防団や自主防災組織、女性防火クラブ、少年消防クラブなど、地域の消防・防災活動に携わっておられる関係者の皆様におかれましては、日頃より、地域の安心・安全の確保のために御尽力いただいておりますことに、深甚なる敬意を表します。

近年、我が国では災害が激甚化、頻発化しており、昨年9月の台風第14号、本年5月の石川県能登地方を震源とする最大震度6強の地震など、各地で多数の被害が発生しました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。こうした災害の現場において、地元の消防団や自主防災組織をはじめとした地域の消防・防災活動に携わっていらっしゃる方々によって、避難誘導が行われるなど、地域防災力の重要性を改めて感じているところです。

今後もこのような大規模な災害に対応していくためには、国や自治体による対応（公助）だけでなく、自分の身を自らの努力によって守り（自助）、地域や近隣の人々が互いに協力し合いながら防災・救助活動に取り組む（共助）という、「自助」「共助」「公助」の3つの働きが一体となって機能することが重要であります。

特に、災害から住民を誰ひとり取り残さず避難させるためには、地域住民が一丸となって、防災・減災に取り組んでいくことが必要であり、「共助」の役割を担う、消防団や自主防災組織、女性防火クラブ、少年消防クラブにはますます期待が高まっております。

そこで、総務省としては、全国的に団員減少が危惧的な状況にある消防団については、報酬等の処遇改善、女性や若者をはじめとする幅広い住民への広報の充実などによる消防団員の確保に取り組んでいるところです。自主防災組織等については、これまでの様々な防災組織との連携に関する支援に加え、避難の実効性確保や避難所運営などの具体的なテーマに即して地方公共団体が自主防災組織等を活性化するための取組を幅広く支援する「自主防災組織等活性化推進事業」を、令和5年度から新たに開始しました。今後も、「共助」を担う人材が確実に確保され、能力を高め、地域の防災力が高まるよう、全力で支援してまいります。

皆様におかれましても、災害に強い地域づくりに向けて今後とも御理解、御協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、今回50号発行を迎えた「地域防災」の関係各位に改めてお祝いを申し上げ、今後更なる本誌の発展を祈念して、私の寄せる言葉といたします。